感染症速報

作成日:令 和 6 年 3 月 14 日

第10週	第10週 3月4日 ~ 3月10日 h							http://www.pref.nagasaki.jp/department/iki-h/index.html					
		状況 定点当り			状況 定点当り			状況 定点当り	疾患名		状況 定点当り		
インフルエンザ			RSウイルス 感染症			咽頭結膜熱		•	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎				
警報:開始30 終息10		17.6	警報:開始 - 終息 -		0.0	警報:開始3 終息1		0.5	警報:開始8 終息4		3.0		
感染性胃腸炎			水痘			手足口病			伝染性紅斑				
警報:開始20 終息12		0.0	警報:開始2 終息1		0.0	警報:開始5 終息2		0.0	警報:開始2 終息1		0.0		
突発性発しん			ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎			新型コロナウイルス 感染症		•••		
警報:開始	警報:開始 - 終息 -		警報:開始6 終息2		0.0	警報:開始6 終息2		0.0	警報:開始 - 終息 -		5.0		
発生報告な		告なし	少数の		発生あり	流行に			流行中 【警報レベル				

番級レベル基準値は表示のとおり(は設定なし。)。注意報レベル基準値は、インフトエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

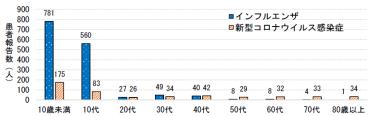
お知らせ

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症について

インフルエンザの2024年第10週の定点当たりの報告数は先週より増加して「17.6」となり、注意報レベルとなっています。 新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は前週より減少し、「5.0」でした。

今後も手洗い、手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。





マダニやツツガムシの活動が活発な時期です。ご注意ください!

壱岐管内でつつが虫病の発生報告が1件ありました。

マダニ類やツツガムシ類は、野外の藪や草むらに生息しているダニで、家庭内に生息するダニとは全く種類が異なります。 マダニ類は、日本紅斑熱や重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) などを媒介し、ツツガムシ類はその名のとおりつつが虫病を媒介します。

春から秋(3月から11月)にかけては、マダニ等の活動が活発になる時期です。

農作業や庭仕事、レジャーなどの野外で活動する際には

長袖、長ズボンなど、肌の露出を少なくしましょう。 防虫スプレーを使用しましょう。 スプレーは前後まんべんなく使用しましょう。 帰宅時は、服をはたいて家に入りましょう。

ダニが吸着していたら無理にとらず、皮膚科等で処置を受けましょう。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について

第10週の報告数は「3.0」で前週「1.0」よりも増加しているので注意が必要です。

本疾病の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによって

ヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱(高熱)

咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。急性期患者の感染力は強いですが、適切な抗菌薬の投与により多くは1日から2日後には症状も消失し、感染力も著しく低下します。不十分な治療は無症状保菌者を生じやすいため早めに医療機関を受診するとともに、手洗いを励行し、感染予防に努めましょう